

保育おおさか

平成19年12月1日 第388号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

おめでとう
ございます



秋の叙勲
瑞宝双光章
合田 清子
(神田保育園 園長)

相手の立場に立って人の幸せを願い続けた私の人生に対し、この度、受章の栄に浴しましたことは永年にわたる皆様方の温かいお心添えと感謝申しあげます。

行政説明

初日は、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育

第51回全国保育研究大会(全国保育協議会など主催)が平成19年11月7日(水)～9日(金)の3日間、北海道札幌市の札幌コンベンションセンターで、全国から約1,800人の保育関係者が参加し開催されました。今年は「すべての人が子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現を目ざして」をテーマに、活発な発表、意見交換が行われました。(記念講演、分科会は2面)

課長補佐の隆本英俊氏が、保育所の現状、待機児童の現状分析、平成20年度予算概算要求主要事項の説明など保育行政の動向と課題について報告されました。

まず新しい少子化対策



「すべての人が子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現へ」

第51回全国保育研究大会——全国保育協議会など主催

について、「子どもと家族を応援する日本」重点戦略の基本的な考え方から「すべての子ども、すべての家族を大切に」と強調されました。

また、「保育所保育指針」の改定については重要な点として、保育所の質の向上の観点から、大臣告示化により最低基準としての性格を明確化するというところにあり、保育関係者の更なる努力・向上が義務付けられると指摘。最後に「特別支援教育の実施」と「発達障害者支援法の施行」について説明を加えられました。

基調報告

続いて全国保育協議会会長の小川益丸氏が「基調報告」を行われました。保育をめぐる状況、子どもの社会的養護体制に関する構想の項目では、保護者を中心として、子どもの決定権を重視し、か

つ社会性の獲得に向けた安心安全な養護体制を地域社会との協働で作りあげていくことが必要であること。また、障害児保育での加配制度の問題点や虐待について触れ、地域ネットワークの拡充や子育て支援により、どのように防止すれば良いかなどの問題点を指摘されました。

全保協の取り組みとしては、①子どもの育ちを保障する(保育指針の勉強会)②施設長の責務(所長専門講座の拡充)③人材確保のための給与制度の改善など④子育て支援強化(地域社会の中での保育園の機能強化)⑤予算獲得の努力などを報告されました。

(編集委員 M・K)



「イケ面」「逆切れ」や「ニート」など時代を映す言葉まで約一万の

新語を加え、岩波書店の国語辞典『広辞苑』が改訂、刊行されるという新聞記事を読み、遠い記憶がよみがえってきました。父の書斎のあらゆる分野の本の中でも『広辞苑』が私の一番のお気に入りでした。あの重厚な佇まいに圧倒的な存在感。学生の頃、父の書斎でそれを手に取った瞬間、とても大人になったような気がしたものです。

目的もなく、ページをめくって楽しんでいた私の姿がよほど気になったのか、家を離れることになったある日、父が「これを持って行きなさい」と新しいものを贈ってくれました。

それから数年、日々の忙しさに紛れてパソコンの便利さに頼り、すっかり書棚の奥が定位置となっていました私の『広辞苑』。久しぶりに取り出し、楽しむことにしよう。

(編集委員 T・T)

全国保育研究大会 分科会・記念講演

第2分科会

「子育てライフを
支援する」
親自身の自主性と実行
力を促す「親支援」を



第2分科会は「子育てライフを支援する」がテーマ。新潟県、大阪府、沖縄県と、背景や特性の大きく違う地域の実践報告が行われました。

(家族構成・就労状態)など各府県それぞれに特色があり、また各園では独自に保護者のニーズ把握のアンケート調査が実施されています。しかし、都市部では、多様化する親の生活や就労に沿った支援はまだ難しく、そのしわ寄せを受ける子どもたちの生活をどのように守り、サポートするのが大きな課題として指摘されました。

第8分科会

「保育所保育指針の
内容を学ぶ」
保育所の社会的責任の
重要性を指摘

(協田保育園M・T)

「保育所保育指針の内容を学ぶ」と題し、厚生労働省の障本英俊氏が意見を述べられました。



「保育所保育指針の内容を学ぶ」と題し、厚生労働省の障本英俊氏が意見を述べられました。

第8分科会ではまず、

「保育所保育指針の内容を学ぶ」と題し、厚生労働省の障本英俊氏が意見を述べられました。

記念講演

「甦れいのちの輪—アジアから保育をみつめる」というテーマで北海道多度志保育園園長・殿平善彦氏が記念講演されました。

最後に遊育取締役の吉田正幸氏、目白大学教授の増田まゆみ氏、保育園を考える親の会の普光院重紀氏、中居林保育園園長の桃沢幸苗氏によるシンポジウムが行われました。

(編集委員 M・K)



「甦れいのちの輪—アジアから保育をみつめる」というテーマで北海道多度志保育園園長・殿平善彦氏が記念講演されました。

在日韓国人とともに強制連行・強制労働犠牲者の遺骨を遺族に返還する活動を継続されています。

みとして行われました。「出会いや活動を通じて思いをかわし、話し合い、人となりがついていくことが大事だと感じました。『保育の場』はその可能性があります。園児に様々な人と出会ってもらうことも保育園の役割だと考えます」と結ばれました。

☆11月14日の保育部会常任委員会で保育部会顧問の高岡國士氏を講師に迎え、「地域貢献事業の必要性と保育所」をテーマに各ブロック代表の研修会が開かれました。

高岡氏は、規制改革の流れの中で老人を始めたとする福祉の世界に、株式会社など社会福祉法人以外のサービス提供事業者が参入してきている現状がある、また、様々な企業が社会貢献事業への取り組みを活発化させている中、民間企業と社会福祉法人のイコールフィッティング論がいわれるようになっており、今まで当然とされてきた社会福祉法人の非課税の理由や社会福祉法人の存在そのものの意義が問われるようになりつつあると指摘されました。

府下共通の地域貢献事業を— 高岡氏がブロック代表研修で力説

☆地域貢献事業準備委員会では先月お知らせしました「育児相談員の活動状況に関する調査」を作成、現在、順次発送中です。各園の状況をご記入のうえ提出いただきますようお願いいたします。

(編集委員 N・S)



寝屋川市の休日保育は平成13年度から平成18年3月まで5年間、東部地区と南部地区の保育園で運営されてこられました。が、職員の確保、給食の提供、運営費の問題などで継続が困難となったため閉所を余儀なくされました。



「ゆりかご保育園」—寝屋川市

休日保育

専門職員（非常勤）配置し対応
カギは運営費の確保

平成13年度に初めて開設された保育園は、ともに駅に近いという好立地もあり多くの利用があったように聞いておりましたが、私もゆりかご保育園は駅から遠く、周辺道路も一方通行が多いという立地、さらに運営費を当初の3分の1に削減という厳しい条件でのスタートとなりました。

利用時間は当初、午前9時～午後5時でしたが、ニーズに合っていないが続きました。このため利用時間を前後15分延ばし、1日2500円というシステムを導入してみたところ、現在利用者は増加傾向にあり、今では1日4～5名の方々にご利用いただけるようになりました。



急な申し込みに即時に対応し、他施設の園児、休日保育のみの園児の受け入れなど少しでも多くの方に満足いただけるよう日々努めています。

給食は隣接の老人デイサービスセンターの厨房職員により提供。休日保育の職員は常勤体制を取らず、非常勤という形で休日保育専門の職員を配置。園本来の保育に支障をきたすことなく利用者のニーズにお応えできていると自負しています。



平成20年1月1日号の1面に掲載する「新年にふさわしい園児の元気な姿」が写っている写真を募集いたします。例えば、園児が園庭で遊んでいる写真など。本紙編集委員において選考し、掲載させていただきます。

写真は可能な限り電子データでお願いいたします。電子データでいただけない場合は現像した写真でも結構です。事務局（担当・丸橋）までお送りください。（電子データはE-mail: nakatani.shinya@osakafusyakyo.or.jpまで）

平成20年4月1日から改正パートタイム労働法が施行されます。事業主の皆さんは主な改正点に注意し、適切な雇用環境を整えてください。

①『雇入れの際には労働条件を文書などで明確に！雇入れ後も待遇について説明を！』
・労働基準法上の明示事項に加え、昇給・退職手当・賞与の有無について文書などで明示してください。違反すると過料（10万円）、また雇入れ

【厚生労働省発行「パートタイム労働法が変わります」より抜粋】
（編集委員 N・M）

後も待遇について求められたときには説明をすることが義務化されます。

②『パート労働者の待遇は働き方に応じて決定を！』
・事業主は通常の労働者と同視すべきパート労働者の待遇を差別的に取り扱うことが禁止されます。

③『パート労働者から正社員へ転換するチャンス！』
・正社員への転換を推進するための措置を講じることが義務化されます。

パートタイム労働法が変わります！

万全な受け入れ態勢を確立するには、職員の確保、給食の提供はもちろん、運営費の確保がどの程度

できるかが鍵を握るのではないかと思います。（ゆりかご保育園H・M）



ブロックだより

河内

食育の重要さ学ぶ

―管外研修で国分保育園見学

東大阪市私立保育園では11月22日、園長・主任管外研修として紅葉美しい信貴山の麓、国分保育園を見学しました。目的地までの車中では各園の「食育の取り組み」を発

表しい、食材の栽培や調理体験はもとより保護者の試食会や子どもたちの栄養学習など互いに学びました。

国分保育園では伊藤裕子副園長の園を愛する気概溢れるご案内を受けました。「日本の食文化を大切に、味覚をきちんと育てたい」との願いから、米作りを精米まで経験する「五感で感じる食

保育園をたずねて

357

貝塚市

おおぞら保育園

シルバー保育士から

産明け乳児まで

―毎日が世代間交流

おおぞら保育園は「大きな家庭・大きな家族」をイメージテーマに癒し・励まし・安らぎの和やか保育を実践しています。

106名の園児とその家族・老若男女保育士17名・関係職員7名・地域シルバーボランティア5名の総勢約300名の大家族です。シルバー世代



の男性保育士から産明け乳児まで、幅の広い年齢構成で毎日の保育が楽しく営まれています。なかでもおじいちゃん保育士は大人気。子どもたちの大好きな職員手づ

育」を実践しておられます。

創立50周年記念に建設されたランチルームはイタリアの古城を模した外観で、子どもの背丈に合わせた調理台があり、ス



テンドグラスから明るい光が暖かい「食」の空間を作っていました。

この日は、年長児がお米をといで炊飯し、みんなで楽しむおにぎりパーティーで、私たちもお相伴しながら「子どもは6歳までに母国の文化を獲得する」ということを改めて感じた研修でした。

(編集委員 K・M)

泉州

保育のエネルギーに

―長浜方面バスツアーで心身リフレッシュ

秋晴れの11月13日、自然と歴史と文化の街、滋賀県長浜方面へバスツアーに出かけました。参加したのは103名。

天王山の自然が育む名水が湧き出て、紅葉の見えるサントリー山崎蒸

留所をまず訪ねました。発酵↓蒸留↓樽貯蔵↓熟成等の工程を見学、ウイスキーの試飲もさせてもらいました。熟成は年月の長短だけでなく環境でも違うと教わりました。

(編集委員 N・N)

滋保育部会では地域貢献事業の準備が進められていくところですが、先月の常任委員会は久方ぶりに、東奔西走されている高岡國士さん(全国社会福祉施設経営者協議会会長)を研修会の講師に迎え、最近の福祉をめぐる中央情勢、社会福祉を取り巻く環境、保育所に求められる地域貢献の必要性などのお話を伺いました。

あの人

高岡さんは保育部会長の職にあつた3年以前から常に、社会福祉法人の存在意義の実践、地域福祉推進の機能、社会貢献を果たすことの重要性が現在の保育所の制度の堅持にかかっているということを述べてくれました。今後、さまざまな変化が起こりえる保育所制度にあつて、これからも高岡さんのタイムリーな話を期待いたします。

(編集委員 I・M)



103名が参加

発行所
大阪市中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会

保育部会
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001

発行人 男 勲
永野 編 集 人
宮 武

アを探索。近江商人の息づかいを肌で感じました。留守番の先生や園児のことを心の片隅に、美しさにひたり、美味しい物をいただき、時には渋滞に捕まっても何とかなるものということまで体験。心身ともにリフレッシュ、これからの保育のエネルギーにしたいものです。

(アイビースクールA・M)